議会だより

鳴門市
NARUTO CITY

発行／鳴門市議会
編集／議会広報委員会
発刊／2022年（令和4年）9月1日
https://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/

目　次

高校生会議 ②～③
令和４年第２回定例会の提出議案と議決結果 ④
請願の処理 ④
委員会審査 ⑤～⑥
一般質問 ⑦～⑮
議員表彰 ⑮
令和４年第３回定例会の予定 ⑯

高校生会議

【令和４年８月２日開催】

～住みよい鳴門市になるために今必要なこと～

詳細は２～３ページをご覧ください

No.120

高校生会議

～ために今必要なこと～

令和４年８月２日(火)開催
場所：鳴門市議会委員会室

【司会・進行】

東　正昇　議　長
潮崎 憲司　副議長

【会議に参加した議員】

上田 公司　議員（総務文教委員長）
長濱 賢一　議員（生活福祉委員長）
高麗 裕之　議員（産業建設委員長）
梶　達矢　議員（総務文教副委員長）
前田ナツ子　議員（生活福祉副委員長）
小西　努　議員（産業建設副委員長）

西原 大智 さん（鳴門渦潮高校３年）

現在は県外の大学への進学を考えているが、いずれは鳴門市に帰って来ることも選択肢の一つとして考えている。そうなったときに、子育て支援などの現金給付の支援ではなく、無条件で市民全員に現金を給付する制度があってほしいと思う。そうすることで、給料とは別の収入が増えるので、生活に安心感が持てて過ごしやすくなると思う。

【議員の意見】

★県外に出た大学生の皆さんに地元に帰ってきもらうための施策をいろんな自治体が実施している。その代表的なものとして奨学金を肩代わりする制度がある。奨学金を受けている方に直接お金が渡るわけではないが、生活が楽になるし、地元に返ってくるモチベーションに繋がると思う。

★まずは、自分の夢に向かって頑張ってみてほしい。いろいろな障壁もあると思うが、その中でいろいろな制度を活用していってほしい。皆さんが帰ってくる頃には、鳴門市ももっとバックアップできる体制になっていると思うので楽しみに帰ってきてほしい。

林　怜花 さん（鳴門高校２年）

新型コロナウイルス感染症の拡大により、近年、花火大会・阿波おどりなどが中止となるなど、青春時代を送る中高生が友人と一緒に過ごす貴重な時間が失われた。
鳴門市が実施する青春時代を送る中高生向けのイベント・政策はあるのか。

【議員の意見】

★花火大会に関しては、今年は残念ながら中止になったが、来年は例年の倍となる１万発の花火を打ち上げるよう提案したいと考えている。
阿波おどりに関しては、来年以降は、これまでのようなかたちで開催できればと考えている。
また、文化会館が耐震化のため利用できない状況が続いているが、耐震化の完了後には、まちを盛り上げられるようなイベントを提案していきたいと考えている。

★若い皆さんから、イベントなどを提案していただければ協力できることもあると思う。

※会議の内容を抜粋して掲載しています。

鳴門市議会
～住みよい鳴門市になる

会議の趣旨

高校生の視点から市民の声を市政に反映させることなどを目的として、高校生と市議会議員がテーマに沿って意見交換を行う高校生会議を開催しました。

齋藤 啓吾 さん（鳴門渦潮高校３年）

今後、鳴門市と民間企業が連携して、まちおこし・地域活性化のイベントを開催する計画はあるのか。例えば、各年代のニーズをマッチングしたイベントとしておばあちゃんと孫のお菓子づくり体験や、母と子のメイクアップ体験、また、ひとりでも参加しやすい食べ歩きなどの気軽なイベントも考えられると思う。

【議員の意見】

★近年、新型コロナウイルス感染症のため各種イベントが中止になる状況が続き残念だが、新規イベントの開催などについては皆さんから提案していただければ、協力できることもあると思う。
まちおこし・地域活性化の企画を若い皆さんにどんどん考えていただければと思う。

★渦潮高校の UZUcafe については、生徒たちだけで企画・運営・販売などを行っており、会社経営を模擬体験できる素晴らしい取り組みであると考えており、そのような取り組みを新たに検討しているのであれば、積極的に協力したいと思う。

多田 寛花 さん（鳴門高校２年）

鳴門市の観光といえば、渦潮や大塚国際美術館など見る観光はあるが、体験型の観光が増えていけば県外からの観光客や県内の方も来てくれると思うので、廃校などを活用して週や月がわりで体験できるものをつくっても良いと思う。

【議員の意見】

★鳴門市の観光は大塚国際美術館や渦潮以外にもあるので、SNSなどで発信し、周知をしていけば観光客に来てもらえると思う。廃校を活用するのは面白いと思う。お化け屋敷や宿泊体験をしているところもあるので、これから考えていき、何かいい案があればお聞きして考えていきたいと思う。

★例えば、休校中の島田小学校の運動場にテントを張ってキャンプの体験イベントをしている。廃校などを利用するなら徳島市の阿波踊り会館で体験できるような阿波踊りの鳴り物教室や阿波踊り体験などができればいいと思う。

中川 小雪 さん（鳴門高校２年）

ニュースなどで月給が少ない人の話を聞いて、女性の社会進出や賃金の問題に興味を持った。女性の産休や育休について期間が短いと思うが、もっと延ばすことはできないのか。

【議員の意見】

★鳴門市役所の職員は女性が多く、管理職も多いと感じており、他のところに比べて女性が進出していると感じている。
生活支援策は増えているが、PR不足で必要な人に情報が届いていないと感じている。

★ここ十年で環境が変わり、女性が働きやすくなってきた。家族の理解と協力も必要であると思うが、男性が育児休業を取れる時代になったことが大きな一因だと思う。ただ、日本は世界的に見ても男女の賃金格差があるので、今後、格差が段々となくなってくる時代が来るのではないかと思う。

《 令和４年 第２回定例会の提出議案と議決結果 》

議案番号	案　　件	議決結果	所管の委員会
議案第35号	専決処分の承認について（令和３年度鳴門市一般会計補正予算（第10号））	承　　認	予算決算
議案第36号	専決処分の承認について（令和３年度鳴門市水道事業会計補正予算（第３号））		
議案第39号	専決処分の承認について（令和４年度鳴門市一般会計補正予算（第１号））		
議案第40号	令和４年度鳴門市一般会計補正予算（第２号）	原案可決	
議案第41号	令和４年度鳴門市モーターボート競走事業会計補正予算（第１号）		
議案第37号	専決処分の承認について（鳴門市税賦課徴収条例等の一部改正について）	承　　認	総務文教
議案第42号	鳴門市消防団条例及び鳴門市消防団員の給与及び費用弁償条例の一部改正について	原案可決	
議案第44号	徳島県市町村総合事務組合規約の変更について		
議案第45号	業務委託契約の締結について（高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線システム機器更新業務）		
議案第38号	専決処分の承認について（鳴門市国民健康保険条例の一部改正について）	承　　認	生活福祉
議案第43号	鳴門市附属機関設置条例の一部改正について	原案可決	
議案第46号	財産の処分について	原案可決	産業建設
報告第２号	継続費繰越計算書について（令和３年度鳴門市一般会計予算）	報　　告	予算決算
報告第３号	繰越明許費繰越計算書について（令和３年度鳴門市一般会計予算）		
報告第４号	事故繰越し繰越計算書について（令和３年度鳴門市一般会計予算）		
報告第５号	繰越計算書について（令和３年度鳴門市水道事業会計予算）		
報告第６号	繰越計算書について（令和３年度鳴門市モーターボート競走事業会計予算）		
報告第７号	繰越計算書について（令和３年度鳴門市下水道事業会計予算）		
報告第８号	弾力条項の適用について（令和３年度鳴門市モーターボート競走事業会計）		
報告第９号	専決処分について（損害賠償の額の決定）	報　　告	生活福祉

請願の処理

請願番号	案　　件	審議結果	所管の委員会
請願第２号	「消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書」を政府に送付することを求める請願書	継続審査	総務文教

総務文教委員会

●議案第45号
業務委託契約の締結について（高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線システム機器更新業務）

高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線システム機器更新業務を締結することについて、議会の議決を求めるもの。

【質疑】旧システムから新システムへの移行時の対応は。

【答弁】１１９番回線を迂回させる措置などのさまざまな状況を想定した体制を整え、業務に支障が生じないよう努めたい。

【質疑】業務委託契約の金額内訳は。

【答弁】高機能消防指令システムが１億５９３９万円、消防救急デジタル無線システムが９３６１万円。

【質疑】システムの耐用年数は。

【答弁】基本的には10年となっているが、長寿命化を図りながら、耐用年数を超えて使用できるよう努めたい。

生活福祉委員会

●議案第43号
鳴門市附属機関設置条例の一部改正について

鳴門市児童福祉審議会において、「（仮称）鳴門市子ども条例」に関する事務について調査審議するため、審議会の審議項目を追加する改正を行うもの。

【質疑】鳴門市児童福祉審議会の審議項目の追加を受け、審議会の構成を変更する予定はあるのか。

【答弁】審議会の構成の変更は予定していない。

【質疑】行政の役割を明確にし、子どもの育成、支援、保護などを推進するために「（仮称）鳴門市子ども条例」を制定するのか。

【答弁】行政のほかにも家庭や学校、地域、ＮＰＯなど、それぞれの役割を明確化し、それぞれの分野の連携を図り、より一層、子どもの育成、支援、保護などの実効性を確保することが条例制定の目的の一つ。

産業建設委員会

●議案第46号
財産の処分について

これまで撫養町木津の「なるとソフトノミックスパーク」の一部区画に事業用借地権を設定し使用していた企業から当該区画の譲り受けの希望があり、令和４年６月７日付で土地売買に係る仮契約を締結したことから、財産の処分を行うにあたり、議会の議決を求めるもの。

【質疑】 同社の経営状況は。

【答弁】 売上・利益とも好調で当該区画の購入に至った。

なるとソフトノミックスパーク

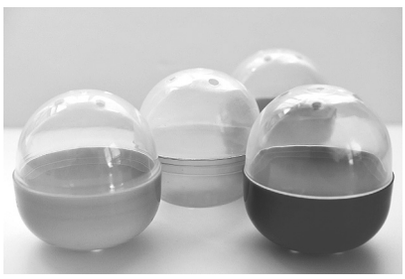
予算決算委員会

●議案第40号
令和４年度鳴門市一般会計補正予算（第２号）

新型コロナウイルス感染症対策 緊急支援策 第16弾として、国の「コロナ禍における『原油価格・物価高騰等総合緊急対策』」に即応した市民・事業者への支援策を広く行うとともに、「なると周遊キャンペーン事業」や「消防団員処遇改善事業」など、本市の将来を見据えた重要な施策にかかる予算を計上するもの。

【質疑】 「なると周遊キャンペーン事業」の「カプセル自販機企画」に関し、カプセル自販機の設置場所とクーポン券の内容は。

【答弁】 淡路サービスエリアに設置予定。５００円を投入すると、市内の観光施設や飲食店、土産物店などで使用できるクーポン券１０００円分、３０００円分、５０００円分のいずれかが当たる。



【質疑】 「なると周遊キャンペーン事業」の「ＥＴＣの利用明細を用いたクーポン企画」に関し、県外のインターチェンジから入り、鳴門市のインターチェンジから出たことの確認はどのように行うのか。

【答弁】 ＥＴＣカードを機械で読み取り、確認できれば１０００円分のクーポン券をお渡しする。

＊一般質問に関する記事は、紙面の都合上、要約して掲載しています《全文はＰ16「会議録を見てみよう」に記載の方法でご覧ください》＊
〈議員・理事者は全員マスクを着用し発言を行っています〉

一般質問

代表質問

❶叶井　克典（会派　潮）

1. 市長の政治姿勢について
(1) 経済対策について
(2) 観光行政について

❷秋岡　芳郎（会派　創心クラブ）

1. 市長の政治姿勢について
(1) 第七次鳴門市総合計画策定事業について

2. スポーツ行政について
(1) スポーツ施設について
(2) 子どものスポーツ推進について
(3) サイクルツーリズムの推進について

❸宅川　靖次（会派　平成なると）

1. 市長の政治姿勢について
(1) 地域コミュニティについて
(2) 鳴門地方卸売市場について
(3) 環境行政について

❹梶　達矢（会派　ナルト地方創生会）

1. 鳴門の魅力について
(1) 産業、観光、自然環境について

2. 鳴門の未来について
(1) 四国のゲートウェイ化推進事業について
(2) デジタル技術の活用について
(3) 農業の担い手不足による影響について

❺高麗　裕之（会派　未来）

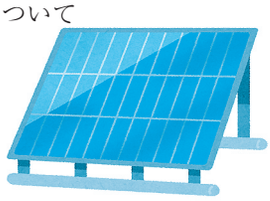
1. 市長の政治姿勢について
(1) 高齢者・障がい者生活支援商品券給付事業について
(2) 中小企業・小規模事業者への支援策について

2. 教育行政について
(1) 教育振興計画について
(2) 鳴門東小学校の児童数について
(3) 学校再編の現状について

❻浜　盛幸（会派　公明党）

1. 市長の政治姿勢について
(1) 脱炭素先行地域について

2. 水道行政について
(1) 折野川筋地区飲料水供給施設について



会派　潮
叶井（かない）　克典（かつのり）

支援が行き届かない方への支援を

問 食料品価格上昇、原油価格の高騰および円安が続いている。今回の補正予算などに計上されている支援策の対象にならない方で家計負担増が大変重荷になっている方の生活支援策は。

答 コロナ禍と原油価格・物価高騰による生活への影響は、これからも長期化することが想定される。財源の確保にも努めながら、適時的確に低所得者などへのさらなる支援策が実施できるよう取り組む。

観光都市にふさわしい環境を

問 鳴門スカイラインの車道の上の樹木を県と連携して伐採することはできないのか。四方見展望台の公衆トイレ横の樹木を取り除き、瀬戸内海とウチノ海を見ることができるようにできないのか。また、四方見展望台のウチノ海側に、ハート島（鏡島）を紹介する看板などを設置できないのか。

答 鳴門スカイラインの樹木の管理は、県が随時伐採を行っているが管理範囲が広いため、行き届いていない箇所もある。現状把握に努め、県に情報提供を行うとともに、対応について県と協議をする。四方見展望台の景観を阻害する樹木は、市が優先順位の高い箇所から順次剪定を実施して行く。今年度中に、鏡島をＰＲする看板を設置する。

ハート島（鏡島）

分野ごとの観光コースの設定を

問 本市の地理を考えての観光コース、渦などの雄大な自然コース、歴史に触れるコースなどの独自の観光コースをつくってみては。

答 歴史や新たな観光スポットを取り入れた周遊コースも検討する。

会派　創心クラブ
秋岡芳郎（あきおかよしろう）

第7次鳴門市総合計画

問 新しく策定される第7次鳴門市総合計画の作成方針とコンセプトを問う。

答 鳴門市総合計画審議会で検証を行い、都市計画マスタープランや立地適正化計画などとの整合性に留意しながら、人口減少・人口流出対策やアフターコロナを見据えた観光・地場産業の振興、さらにフェーズフリーのさらなる推進による危機管理・防災対策の充実強化に努める。具体的に、なるとまるごと子育て応援パッケージ事業などで子育て世代の定住人口確保を目指した取り組みを実施するとともに、新たな行政課題の抽出とその対応の方向性を把握する。

スポーツのまちの実現を

問 アリーナ型スポーツセンターおよび屋内温水プールの整備の方針と県営鳴門球場のプロ野球公式戦を見据えた改修計画への市としての対応を問う。

答 市の財政負担の平準化や収支見通しなどを勘案し、公共施設全体の最適配置を踏まえながら、地域ににぎわいと経済効果を生み出すアリーナ型での整備が必要であり、新たなスポーツ施設の要件の整理をはじめ、民間活力を導入した管理運営方針などについて調査を進めている。県営鳴門球場の整備によるプロ野球開催実現に向けてＮＡＲＵＴＯスポーツコミッションを軸とし、県や野球関係団体などと密に連携を取り、情報収集に努めて地域の活性化に繋げる。

オロナミンＣ球場

会派　平成なると
宅川靖次（たくかわやすじ）

地域コミュニティ活性化

問 地域コミュニティの重要性についての認識は。また、今後の推進に向けての取り組みは。

答 自分が暮らす地域に愛着を持ち、住み良い地域社会をつくっていくとともに、災害時など困った時には助け合うといった、安心して暮らすことができるまちづくりを行うためには、さまざまな人同士がつながり合い、地域コミュニティを築いていくことが重要であると認識している。今後も町内会などへの加入促進を図り、町内会などの活動を積極的に推進していきたい。

鳴門地方卸売市場

問 民営化から3年が経過しているが、市場の経営状況について市は把握しているのか。また、市場の施設の管理についての状況は。

答 運営状況の報告などについては、管理法人が徳島県知事に行うことになっており、市としても聞き取りなどにより状況把握に努めている。財産などの管理も管理法人が善良な管理者の注意をもって維持管理を行うこととなっている。市としては、地域の物流の拠点施設として適正な市場運営がなされるよう、引き続き県とも連携しながら対応していく。

里浦最終処分場の今後

問 里浦最終処分場の撤去に向けた計画はあるのか。また、今後どのように管理していくのか。

答 里浦最終処分場の撤去には多額の経費が必要であり、具体的な計画は立てられていない。現在は、適正な管理を行うため、施設の維持管理や水質などの調査、除草などの現場管理を実施している。今後も引き続き適正な管理に努めるとともに、地元の里浦処分場対策協議会と協議を続ける。

里浦最終処分場

＊一般質問に関する記事は、紙面の都合上、要約して掲載しています《全文はＰ16「会議録を見てみよう」に記載の方法でご覧ください》＊
〈議員・理事者は全員マスクを着用し発言を行っています〉

会派　ナルト地方創生会
梶（かじ）　達矢（たつや）

四国のゲートウェイ推進プロジェクト

問 定住人口確保と交流人口拡大に向け、東西南北各所のゲートの役割が重要だが、推進状況と今後の計画についてどのように考えているのか。

答 西のゲートは道の駅「第九の里」、北のゲートは「ＪＦ北灘さかな市」、南のゲートは道の駅「くるくる　なると」を整備した。東のゲートは民間投資や民間活力を活かしたい。

道の駅「くるくる　なると」

今後は、３つのゲートを活用した周遊キャンペーン事業などの滞在型観光に資する施策や近隣市町にある交流拠点施設との広域連携を深め、さらにはアフターコロナや大阪・関西万博、大鳴門橋自転車道開通などを見据え、国内外から誘客を図る施策に引き続き取り組み、交流人口の拡大と地域経済の活性化につなげたい。

自治体ＤＸに向けた本市の方針や考え方

問 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、テレワークなど、デジタル化が急速に進んだが、本市は自治体ＤＸに向けた方針や取り組みをどのように考えているのか。

答 本市では具体的な取り組み内容や目標を掲げた「（仮称）鳴門市ＤＸ推進計画」の策定を進めている。計画策定と並行しながらデジタル社会の基盤となるマイナンバーカードの普及促進をはじめ、市民の皆様の利便性向上や業務の効率化を図り、デジタルツールの利用に不慣れな方への相談や支援に注力し、誰もがデジタル化の恩恵を享受できる改革を推進したい。

会派　未来
高麗（こうらい）　裕之（ひろゆき）

市民に一律に５０００円のうずとく商品券を

問 生活必需品の値上がりは、家庭に影響が大きい。物価高騰の影響を受け、多くの支援策が必要である。全市民を対象とした支援策として、市民に一律にうずとく商品券を給付してはどうか。

答 物価高騰が一段と激しさを増す中で高齢者や障がい者の生活に多大な影響が生じている。このような状況下にある方を支援するため一人５００円分のうずとく商品券を高齢者、障がい者の皆様にお届けする。財源は、国からの新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、それでも財源が不足していることから、不足分を本市独自財源で対応している。今後は、国などへの要望、財源の確保にも努めながら、支援策が実施できるよう取り組んでいく。

要望 物価高騰の影響を受ける人を支援し、強力な支援策を要望する。

子どもたちの笑顔あふれる豊かな教育環境を

問 鳴門市では人口減少が進んでおり、子どもの数が減少している。子どもの数が減少することを想定した学校や幼稚園の在り方、学校再編はどのような方針で取り組むのか。

答 これまでに島田小学校、北灘東小学校、瀬戸小学校の３校を休校、北灘西小学校を閉校、島田幼稚園、瀬戸幼稚園をはじめとする８園を閉園、成稔幼稚園１園を公私連携幼保連携型認定こども園に移行した。再編にあたっては、保護者や地域の方々の学校への思いを大切にし、意見交換の下、ご理解をいただきながら進めていく。

要望 未来を生きる子ども一人ひとりが輝くために、よりよい学校教育を要望する。

島田小学校

会派 公明党
浜（はま） 盛幸（せいこう）

脱炭素先行地域

問 2015年に、地球温暖化などの気候変動の解決に向けてパリ協定が採択され、世界共通の長期目標として、2050年までのカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みが合意された。国においては、2030年までに、電力消費に伴う二酸化炭素排出量を実質0にする自治体などを「脱炭素先行地域」として全国で100か所以上つくり、予算を優先的に配分する政策を進めているが、本市の場合、条件も整っていることから、対策チームを立ち上げ、脱炭素先行地域への応募に取り組むべきであると思うが。

答 本市においては、脱炭素化の取り組みを進めるため、令和5年度を目途に地方公共団体実行計画区域施策編を策定していきたいと考えており、今後、施策横断的な組織の運営体制の構築や業務の集中化などへの対応が想定される。そのため、若手職員などを中心としたワーキンググループの立ち上げを検討し、脱炭素に関する専門部署については、国や県の動向を踏まえつつ、効果や課題について精査した上で総合的に検討していく必要があると考えている。

折野川筋地区 飲料水供給施設

問 施設全体の老朽化や降雨時の水の濁り、井戸水の水量不足などが指摘されるが、今後の対応は。

答 使用開始から30年が経過しており経年劣化が進んでいる。安定的な水の供給継続のため令和3年3月に鳴門市飲料施設個別施設計画を策定し、令和5年度から計画的に配水管の布設替えを行っていく。水質に関する部分については飲料水として問題がないとの検査結果が出ているが、平成27年に実施したろ過砂などの更新について改めて検討し、浄水機能の向上につなげていく。今後も安全な水を安定的に供給できるよう、計画的に施設の維持管理を図っていく。

折野川筋地区
飲料水供給施設

個人質問

❶山根　巌

1. 子育て支援について
(1) なるとまるごと子育て応援パッケージ事業について
(2) 新生児出生による指定ごみ袋の無償交付について
(3) 保育園における使用済み紙おむつの持ち帰りについて

2. 関係人口の創出を目指す施策について
(1) 新しい働き方「ワーケーション」の誘致について

❷小西　努

1. スポーツ行政について
(1) スポーツ振興基金について
(2) 鳴門市総合運動場について

2. 観光行政について
(1) ご当地ゆるキャラの見直しについて
(2) B級グルメの開発について

3. サイクリングロードについて
(1) 大鳴門橋からのコースの整備について

❸八木　亨

1. 環境行政について
(1) 悪臭問題について

❹長濱　賢一

1. 地域コミュニティについて
(1) 地域コミュニティの現状と課題について
(2) 地域コミュニティ活性化への取り組みについて

2. ふるさと納税について
(1) 個人版ふるさと納税への取り組みについて
(2) 企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）への取り組みについて

❺前田ナツ子

1. ケアラー支援について
(1) ヤングケアラー支援対策について

2. 子どもの貧困について
(1) ひとり親家庭の支援について

3. 市民サービスについて
(1) おくやみ窓口の周知について

❻三津　良裕

1. 安全なまちづくりについて
(1) 道路の安全確保について
(2) 歩道の安全確保について

2. 助け合い、支え合いの地域づくりについて
(1) 自治振興会の充実、活性化について
(2) 町内会・コミュニティの充実、活性化について

3. 市民協働によるまちづくりについて
(1) 職員専任制度について

❼東谷　伸治

1. 新型コロナウイルス感染症について
(1) 子どもたちへの影響について
(2) 感染状況について
(3) ワクチン接種の影響について

❽江戸　貴志

1. プロスポーツの活用について
(1) オロナミンC球場の改築に向けた県との連携強化について
(2) プロスポーツを通じた地域経済活性化について

2. 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画について
(1) 都市計画マスタープランの見直し及び立地適正化計画の策定について

❾上田　公司

1. 新型コロナウイルス感染症対策について
(1) マスク着用について

2. 学校給食について
(1) 食の安心・安全と食育について

3. 環境政策について
(1) クリーンセンターについて

山根 巌（やまね いわお）

なるとまるごと子育て応援パッケージ事業

問 事業の進捗状況は。

答 結婚・新生活、妊娠・出産、就学前から高校、住宅取得までの各ステージの子育て世代を包括的に応援するための15の新規事業で、第2子保育料無償化事業は4月時点における対象者160人の方に対し保育料の減免を行っており、他の事業についても順次スタートさせる。

なるとまるごと
子育て応援パッケージ事業の
パンフレット

新生児出生時に無償交付される指定ごみ袋

問 新生児出生時に無償交付している指定ごみ袋のサイズや数量の変更についての市の考えは。

答 事業開始以来10年が経過し生活様式などの変化に伴い子育て世帯のニーズも多様化していることから、今後、無償交付する指定ごみ袋のサイズなどについて検討する。

保育園での使用済み紙おむつの処理

問 本市の公立・私立の保育園での使用済みの紙おむつの処理の対応状況と、仮に保育園などで処理した場合の処理費用は。

答 公立保育所2施設は、施設でビニール袋に入れ保護者に持ち帰りを依頼。私立認可保育施設は、5月現在、8施設が持ち帰りを依頼、5施設は施設で処分。その他、施設で一部処理している、または、4・5歳児のみのためおむつを使用していない施設がそれぞれ1施設。

処理費用は、児童一人当たり月額700円程度かかる見込みで保育施設を利用している0歳から2歳児を500人とした場合、年間約420万円の費用が発生することから、今後、施設における処分については、保護者や施設のニーズを注視しながら検討する。

小西 努（こにし つとむ）（潮）

スポーツ振興基金の創設

問 市長の公約の中にあるスポーツ振興基金の創設の内容を伺う。

答 より一層の競技力向上の支援とスポーツの振興を図ることを目的に検討している。例えば、全国大会に出場する際の経費負担支援を新たにつくり直し、競技に集中できるより良い環境を整えたい。

鳴門市総合運動場の整備

問 オロナミンC球場の改築が来年行われることが予想される。それにより球場が鳴門市総合運動場（市営球場）のみになってしまうが、正直、現状の設備のままでは不十分甚だしい。早急な整備が必要だが、市の考えは。

答 オロナミンC球場の改築により、鳴門市総合運動場の需要が高まることが予想される。今後も利用者などの意見を聞きながら必要に応じた環境整備に取り組む。

要望 先ずは、最低限必要なスコアボード、時計、観戦場所の確保（観戦用ベンチなど）を至急お願いする。

鳴門総合運動公園

サイクリングロードの整備

問 ASAトライアングル構想の展望を伺う。大鳴門橋桁下にサイクリングロードを整備し、南あわじ市、鳴門市、東かがわ市の3市を繋いで活性化を図るようだが、これを機に鳴門市内のサイクリングロードの整備も同時進行で計画、実行して安全・安心なサイクリングロードを整備してほしい。

答 大鳴門橋自転車道の早期開通に向けた機運醸成を図るとともに、瀬戸内海を一周する「セトイチ」といった広域サイクリングコースの検討やサイクリストの受け入れ環境の充実に努めていく。

八木（やぎ） 亨（とおる）（平成なると）

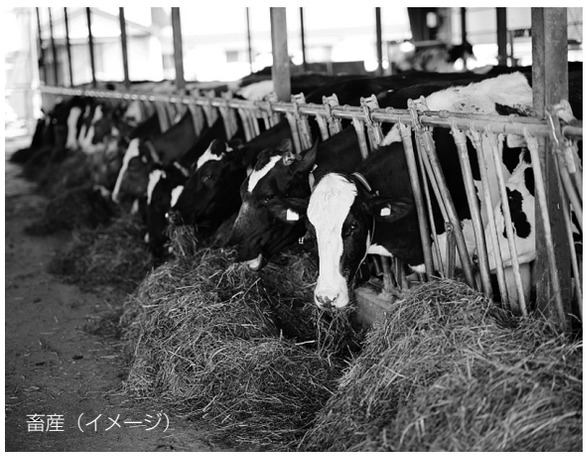
大麻町板東地区の悪臭問題

問 鳴門市西部の大麻町には四国八十八か所霊場1番札所の霊山寺や2番札所の極楽寺、大麻比古神社、第1次世界大戦のドイツ捕虜に関わる史跡、遺構の数々、それらを紹介するドイツ館、賀川豊彦記念館、道の駅「第九の里」などがあり、多くの方が訪れるが、この地区では異様な不快臭が漂っている。板東駅を利用している人が臭いに不快感を覚えている話や、住居の移転を真剣に考えている人が多数いるという話も耳にする。これらのことは、鳴門市にとって大きな損失であり、観光イメージにも大打撃を与えるものと考える。

大麻町板東地区の悪臭問題をどのように認識し対応してきたのか。板野町や県との連携は行っているのか。

答 周辺住民の方から複数回苦情があり、これまで継続的に対応を行ってきた。平成30年3月には業者に依頼し畜産に関係する10項目について悪臭測定を行った結果、全ての項目において悪臭防止法に基づく規制基準以内の数値であった。今後は、引き続き悪臭対策について事業者にお願いするとともに、実施時期や実施場所について周辺住民の方と相談した上で、改めて悪臭測定を行い、現状の把握に努める。

県については、畜産事業者への指導という形で現地訪問し、定期的な検査を行っており、その検査結果は適正であると伺っている。また、板野町については、周辺住民の方から要望があった際には、現地訪問に同行していただいている。今後も関係機関と情報を共有し、連携しながら対応していく。



畜産（イメージ）

長濱（ながはま） 賢一（けんいち）

ふるさと納税の活用

問 個人版ふるさと納税を活用した事業の報告は行っているのか。

本市には、世界でも唯一無二のスキルやノウハウを持った企業がある。このような企業と連携することで、企業版ふるさと納税を活用し、移住促進やサテライトオフィスの誘致など、新しい地域創生事業を創出できると考えるが、市の考えは。

答 ふるさと納税を活用し実施した事業の主なものを市公式ウェブサイトで公表している。

地域企業との連携も含め、市、寄附企業の双方がメリットを感じられるよう、企業版ふるさと納税制度のさらなる活用を検討する。

要望 ふるさと納税を活用した地方創生事業について、寄附者、市民、議会へ分かりやすく事前・事後に報告することを要望する。また、企業版ふるさと納税は、本市の先進的企業と連携し、移住促進や企業誘致などに活用することを提案する。

地域コミュニティの課題解決を

問 本市の地域コミュニティの現状と活性化や課題解決について問う。

答 自治会などは、地域コミュニティにとって欠かせないものであるが、地域への関心の低下や地域の担い手不足などの深刻な課題がある。このため、関係機関と連携した加入促進や地域づくり事業活性化補助金の交付など、地域コミュニティの活性化を図る取り組みを行っている。

要望 地域コミュニティの課題解決や活性化のためには、行政が地域ごとの現状を早急に把握し、分析・検証を行う必要がある。このため、地域ごとに行政側担当を定め、地域の会合や行事へ積極的に参加するなど、地域と密接な関係を構築する必要がある。また、持続可能な自治会活動や地域コミュニティ間の連携強化などのために、地域コミュニティ活動のDX化を提案する。

＊一般質問に関する記事は、紙面の都合上、要約して掲載しています《全文はP16「会議録を見てみよう」に記載の方法でご覧ください》＊
〈議員・理事者は全員マスクを着用し発言を行っています〉

前田ナツ子（公明党）

ヤングケアラー調査結果と支援対策の取り組み

問 本市によるヤングケアラーの実態調査の結果と国が定める集中取組期間としての取り組みは。社会的認知度の向上を図るため、福祉・介護・教員などの関係機関との連携による支援体制に向けての考えは。

答 本年2月に小学5年生と中学2年生を対象に実態調査を実施。結果、家族や親戚の世話をしているとの回答が小学生では9・3％、中学生では5・5％。問題解決に向け情報共有や関係機関との連携など、適切な対応を行っていく。集中取組期間の取り組みとして、女性子ども支援センターに相談窓口を設置したほか、出前講座のメニューに鳴門教育大学との連携講座として「子どもの貧困・ヤングケアラー」を新設するなどの取り組みを開始した。

ひとり親家庭への支援策

問 コロナ禍での不安定な生活が長期化。さらに、原油・食料品などの価格が高騰している。ひとり親家庭を対象とした市の取り組みは。

答 国の低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金に市独自に5万円を上乗せし、子ども一人当たり10万円を支給。食料品や食事提供に関する市独自の支援策としてフードポストを設置し、提供いただいた食料品などを生活困窮者へ提供するなど、支援に努めている。

フードポスト
本庁舎2階
市民協働推進課前に設置

おくやみ窓口の周知

問 市民サービスの向上を図る上でのおくやみ窓口の周知の考えは。

答 市公式ウェブサイトやツイッターを活用。今後は、ケーブルテレビやSNSも活用し、周知拡大に努める。

三津良裕（創心クラブ）

車道や歩道の安全確保

問 街路樹や雑草、周辺の植え込みのツツジなどが一年を通して、細やかな伐採や除草、低く小さく剪定されていない。特に市役所と立岩のスポーツパーク周辺、渦潮高校から第一小学校にかけての広い道、桑島の水道会館の周辺など、歩行者を確認しにくく、車の通行の安全性に支障がある。また、街路樹の根が路面を盛り上げて、通行に危険な歩道や通学路が数多くある。車道や歩道の安全確保と街路樹の維持管理は。

答 道路管理者と協議し、支障部分の剪定や樹木の撤去など、必要な対策を講じている。道路を安全で快適に利用できるよう街路樹の適正な維持管理に努める。

要望 通行の安全確保のために、危険性を回避する措置として、年間を通して伐採、除草、剪定を行ってほしい。

地域コミュニティの活性化

問 最近は町内会・自治会の加入率が低迷。お世話人の成り手が不足し活動が停滞している地域もある。自治振興会や地域コミュニティ活動の充実・活性化への鳴門市の取り組みは。

答 自治振興会の活動充実のために地域づくり事業活性化補助金を交付し、支援している。

道路にはみ出した雑草

市民協働の職員専任制度

問 公民館に、鳴門市のまちづくりの基本理念および基本原則を定めた最高規範性を持つ鳴門市自治基本条例の主旨を具現化した、市民と行政と議会とを結ぶ地域担当職員を専任、配置してはどうか。

答 課題もあり、引き続き調査研究が必要。地域と行政の連携方法について検討する。

東谷 伸治（ひがしだに しんじ）
（ナルト地方創生会）

マスクが子どもの発達に与える影響

問 マスク着用が子どもたちの発達に与える影響は。また、マスク着用による熱中症対策は。

答 乳幼児期において周囲の大人たちの表情や仕草が子どもたちに与える影響は大きく、保育士などの施設職員がマスクをして保育を行っている現状は、望ましい環境ではないことは認識している。また、熱中症対策については、文科省より、小中学校の体育の授業および運動部活動中は、マスクを外すよう求める旨の方針が示されたことを受け、適切な対応を求めている。

小児への新型コロナワクチン接種

問 小児への新型コロナワクチン接種の考えは。

答 接種意思の決定に際しては、保護者とご本人に接種の意思を冷静にご判断いただく必要があると考えている。接種券の送付に併せ、情報提供に努める。

新型コロナワクチンの副反応

問 コロナワクチン接種にかかる副反応などの状況は。

答 接種後に、注射した部分の痛み、疲労、頭痛などが50％以上、関節の痛み、寒気、下痢、発熱などが10～50％の割合で見られることがある。小児への接種においても同様。死亡例の報告については、令和3年2月17日から令和4年4月17日までにおいて、ファイザー社製ワクチンは1549件、武田・モデルナ社製ワクチンは140件、アストラゼネカ社製ワクチンは1件の報告がされているが、現時点において、ワクチンとの因果関係があると結論づけられた事例はないとされている。これらの評価・分析は厚労省の審議会で継続審議されることとなっており、引き続き状況を注視する。

江戸 貴志（えど たかし）
（ナルト地方創生会）

プロスポーツによる地域活性化

問 オロナミンC球場の改築後、プロ野球のオープン戦・公式戦の開催実現に向け、県と連携しどのように取り組むのか。プロスポーツを通じた鳴門市に経済効果をもたらすための取り組みとは。鳴門市出身のプロスポーツ選手やオリンピック選手と積極的に交流すべきだと思うが、所見を聞きたい。

答 今年3月に策定された徳島県鳴門総合運動公園野球場整備基本計画において、公認野球規則などに定められる施設基準を踏まえて、プロ野球開催に対応する設備や機能を備えた野球場とするとの整備方針が示され、現在、県が改築に向けた準備を進めている。プロ野球の開催により、選手や球団関係者に加え、報道関係者や全国から多くのファンが訪れ、交流人口の増加や地域への経済効果などが期待される。今後は開催に向けて早い段階から県と連携し、受入れ環境の整備や機運の醸成に取り組んでいく。徳島ヴォルティスや徳島インディゴソックスなどの地元プロスポーツチームとの連携強化やプロスポーツ公式戦の誘致などに積極的に取り組み、交流人口の増加による地域経済の活性化を図る。本市出身のプロスポーツ選手やオリンピック選手との交流については、本市ではこれまで現役で活躍されているプロ野球選手をはじめ、オリンピックや世界選手権でメダリストに輝かれた選手など著名なアスリートが生まれている。その方々は子どもたちの憧れ、市民の誇りであることから交流を図ることはスポーツ振興に大きく寄与するものと考える。

＊一般質問に関する記事は、紙面の都合上、要約して掲載しています《全文はP16「会議録を見てみよう」に記載の方法でご覧ください》＊
〈議員・理事者は全員マスクを着用し発言を行っています〉

上田（うえだ） 公司（こうじ）

マスクを着用できない方への配慮を

問 市は、「障害や病気の症状があってマスクを着用できない方がいることを知り、その特性や事情を理解し、思いやりの心を持って接しましょう」と注意喚起しているが、実際にはマスクが着用できない方に対して施設利用を断る事態が起きている。市民がマスクを着用できない理由を示した場合、マスクを着用せずとも市の施設は利用できるのか。

答 今後、本庁舎などについては基本的な感染対策をお願いしつつ、マスクが着用できない方へは配慮を欠かさず、小中学校や就学前教育・保育施設においても国の対処方針などを踏まえ、適切に対応する。

わけがありますく

学校給食費の負担軽減

問 市は、4月から給食費を値上げした上で、物価高騰を考慮し2か月分の減免をするとしているが、新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢による影響を考慮するのであれば、それが落ち着くまで値上げを据え置くべきだったと思うが、2か月の減免に必要な財源3800万円を据え置きに充てた場合、何年何か月分に相当するのか。

答 今回の給食費の値上げに伴って小中学校の給食費収入の増額分は年間で約1400万円となり、3800万円と単純に比較すると約2年8か月分となる。

クリーンセンター変更書類の存否

問 市は完全燃焼の範囲について、当初は二次燃焼室としながらも、その後、施設建設時に変更したとしているが、その際には日時や理由、変更内容を示した書面を作成し、保存しなくてはならないはずだが。

答 完全燃焼させる範囲については実施設計段階において変更しているが、変更に関して必要と思われる書類について、現在のところ存在が確認できておらず、詳細については不明。

議員表彰

第98回全国市議会議長会定期総会において、1名の議員が特別表彰を受賞されました。
また、第84回四国市議会議長会定期総会において、5名の議員が特別表彰を、1名の議員が一般表彰を受賞されました。

〈議席順〉

【全国・特別表彰】35年以上在職議員

佐藤（さとう） 絹子（きぬこ） 議員

【四国・特別表彰】16年以上在職議員

宅川（たくかわ） 靖次（やすじ） 議員

東（あずま） 正昇（まさのり） 議長

【四国・特別表彰】12年以上在職議員

上田（うえだ） 公司（こうじ） 議員

東谷（ひがしだに） 伸治（しんじ） 議員

山根（やまね） 巖（いわお） 議員

【四国・一般表彰】8年以上在職議員

圃山（はたけやま） 俊作（しゅんさく） 議員

ご 意 見 箱

～議会活動に関するご意見を募集しています～

鳴門市議会では、市民の皆様からの議会活動に関する幅広いご意見をいただくため、「鳴門市議会　ご意見箱」を設置しています。

議会活動に関して日頃から感じられていることやお気づきの点がございましたら、お気軽にご提出ください。

【提出方法】

次のいずれかの方法でご提出ください。

①鳴門市議会公式ウェブサイトの「鳴門市議会ご意見箱」ページから「入力フォーム」に必要事項をご入力の上、送信してください。
https://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/ikenbako/index.html

②鳴門市役所 本庁舎１階 受付前にご意見箱を設置していますので、付属の用紙に必要事項をご記入の上、投函してください。

※ご意見に対する回答はいたしかねます。
個人情報に配慮の上、鳴門市議会公式ウェブサイトなどで紹介させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。
個人に対する誹謗・中傷などは、お断りいたします。

本会議や委員会などの傍聴について(お願い)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、しばらくの間、本会議や委員会などの傍聴については、次のとおり傍聴人数を制限しております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

議　　場：６人以内
委員会室：傍聴なし

※本会議の模様は、インターネットによる配信やテレビ鳴門での放送にて、委員会の模様は、インターネットによる配信にて、ご視聴いただけますのでご利用ください。

令和４年第３回定例会の日程（９月７日～９月29日）

日	月	火	水	木	金	土
9月4日	5	6	7 開会／本会議 予算決算委員会 全員協議会	8 一般質問 通告締切	9	10
11	12	13 一般質問(代表)	14 一般質問(個人)	15 一般質問(個人)	16 総務文教委員会	17
18	19	20 生活福祉委員会	21 産業建設委員会	22 予算決算委員会	23	24
25	26	27	28 議会運営委員会 全員協議会 議会運営委員会	29 本会議／閉会 予算決算委員会 全員協議会	30	10月1日
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11 予算決算委員会	12 予算決算委員会	13 予算決算委員会	14 予算決算委員会	15

■(赤字) はケーブルテレビ中継とインターネット中継、■(緑字) はインターネット中継を行います

議会を動画で見てみよう！

本会議と委員会の模様は、インターネット中継と録画配信でご覧いただけます。なお、本会議の模様は、テレビ鳴門でも生放送に加え、録画放送を行っています。ぜひご覧ください。

■会議録を見てみよう■

次の２つの方法で一般質問などの内容を詳しく確認することができます。

【議会事務局の窓口で見る】

①市役所本庁舎３階の議会事務局へお越しください。
②見たい会議録をお伝えください。

【ウェブサイトから見る】

①「鳴門市議会」を検索
②鳴門市議会公式ウェブサイト内の「会議録検索システム」から見たい会議録を検索

URL　https://ssp.kaigiroku.net/tenant/naruto/pg/index.html

《議会広報委員会》

委 員 長：江戸　貴志
副委員長：上田　公司
委　　員：八木　　亨・長濱　賢一・前田ナツ子
　　叶井　克典・野田　粋之・高麗　裕之
　　小西　　努

※本紙はカラーユニバーサルデザインに配慮して作成しています。